仕様

項目	仕様	項目	仕様
サイズ	68cm(W)X30cm(D)X40cm(H)	ライン長	5～32cm(1cmステップ)
方式	インクジェット方式	ノズル増設	可能
メンブレンサイズ	3～32cm	試薬塗布量	10μl～40μl
試薬容器	1.5mlマイクロチューブ、15ml遠心管など		0.35μl～2μl／cm
ライン幅	最適条件にて1mm以下	価格	250万～

消耗品

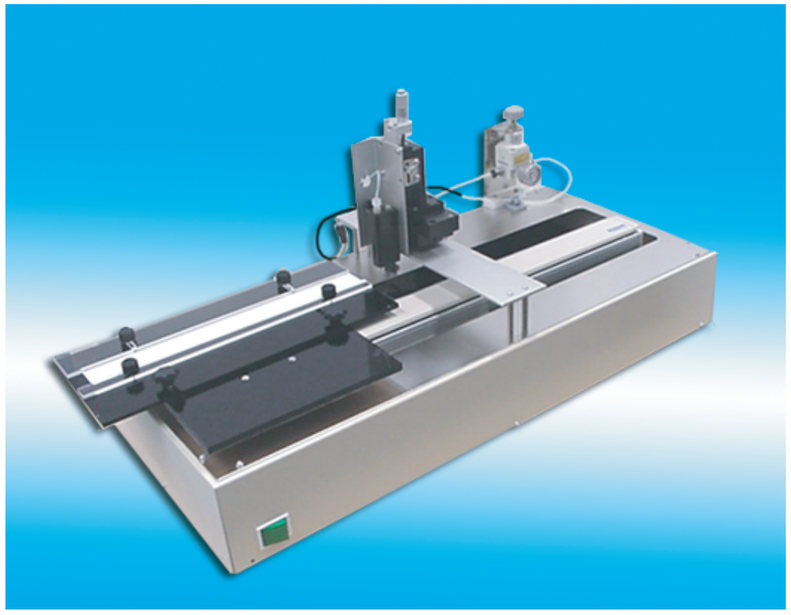
	品名	品番	仕様	数量	価格(税抜)
	ノズル	NZA10075	75umΦ	1	¥50,000
		NZA10100	100umΦ	1	¥50,000
		NZA10125	125umΦ	1	¥50,000
		NZA10400	400umΦ	1	¥50,000
	＊品番NZA10075,N2A10125は受注後取寄せになりますので、納期6週間ほどかかります。				
	マイクロチューブセット	ILJ0100	ポリアセタール	1	¥50,000
	マイクロチューブセット	ILJ0200	PEEK	1	¥70,000
	バルブセット(ノズルな	ILS0100	PEEK	1	¥250,000
	Oリング	SO0100	ニトリルゴム	50	¥10,000
	テフロンチューブ	ILJ0010	テフロンチューブ＋コネクタ	1	¥10,000
	15ml遠心管セット	ILJ0500	ポリアセタール	1	¥00,000

仕様、価格は予告なく変更することがございますのでご容赦ください。
価格には消費税は含まれていません。
本カタログは 2017 年 9 月現在のものです。

株式会社システムバイオティックス

〒252-0203 神奈川県相模原市中央区
東淵野辺1－13－1－504
TEL 042-786-0340 FAX 042-786-0341
http://www.systembiotics.com
e-mail info@systembiotics.com

Immuno Liner 200



イムノクロマト用
インクジェット試薬塗布装置

株式会社システムバイオティックス

http://www.systembiotics.com

空気圧インクジェット方式でイムノクロマト用メンブレンに試薬のラインを引きます

★ ImmunoLiner200は本体と制御用ソフトウェアがインストールされたノートパソコンで構成されています ★

- インクジェット方式によりメンブレンを傷めません。
- ノズル固定方式のため線のブレが少ない。
- メンブレンを固定してスタートボタンを押すだけの簡単な操作。
- カスタマイズに対応します。

ImmunoLiner200の原理

本体に装備されたポンプにてインクジェットバルブ系（試薬溶液系）に一定の圧力をかけます。圧力がかかった状態にてインクジェットバルブを微少時間開閉してインクジェットノズルから一定の間隔で抗体試薬溶液を吐出します。１ｃｍ当たりの吐出量を設定可能で、その値に比例してメンブレンの移動時間（移動スピード）が変化することになります。
このインクジェットライン分注系においては、圧力と液の粘性によって線の太さや形状が変化しますので、単位当たりの塗布量を探索の上最適値を見つけてご使用下さい。

ノズルユニット

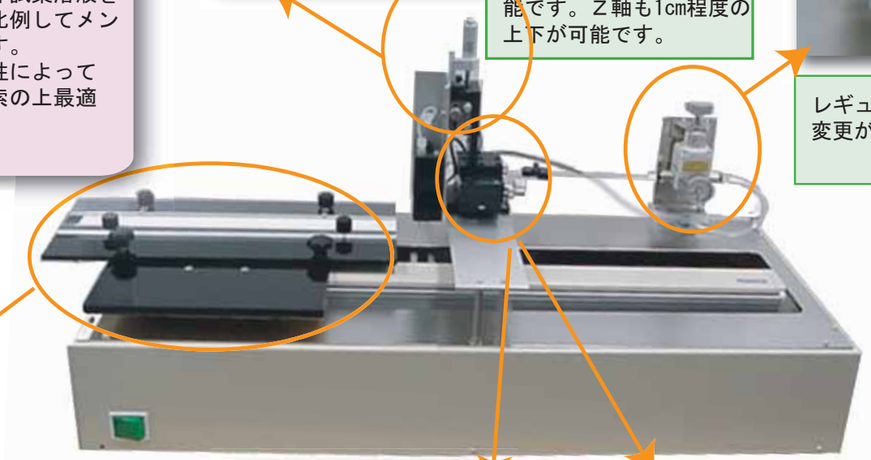
ノズルはＹ方向とＺ方向につまみによって自在に移動が可能です。ノズルユニットのＹ軸の移動にてメンブレンに引くラインの位置が自在に設定可能です。現在3.5cmの間でのノズル位置の移動が可能です。Ｚ軸も1cm程度の上下が可能です。

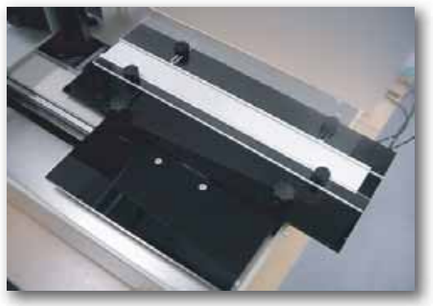
圧力調整部

レギュレタにて圧力の変更ができます。

ソフト画面

テーブルの移動、ポンプのＯＮ／ＯＦＦ、ノズルの洗浄インクジェットライン分注条件設定（スタート位置、距離）、実際の分注量の確認などの設定が分かりやすい設定画面になっています。





メンブラン固定ユニット・テーブル

手前の短いアクリルのチャンパーのねじおよび上側の幅広のアクリルチャンパーのねじを緩めて下台の間にメンブレンの片方の端を挿入してねじで固定します。もう片方のメンブレンの端を上側チャンバーの下に引き込むようにしてください。一端を引き込むことが出来たらゆっくりと残りの部分も上側アクリルチャンバーの下に引き込むようにしてメンブレンをねじで固定します。

マイクロチューブユニット

ImmunoLiner200は1,5ｍｌ用のマイクロチューブを試薬溶液の保存容器として使用できます。ユニットはＯリングでシールされ1.5ｍｌのマイクロチューブに圧力がかけられるようになっています。　マイクロチューブに空気圧をかける空気チューブ用のコネクタとマクロチューブ内の試薬溶液をインクジェットノズルに送液するテフロンチューブとテフロンチューブを締めこんでマイクロチューブを密閉するＰＥＥＫ製のコネクタからなっています。テフロンチューブの端はダイフロンのフランジコネクタにてノズルユニットに接続されています。

操作手順

マイクロチューブユニットに1．5mlのマイクロチューブをセットします。

▼

メンブレンのセット
専用のメンブラン固定ユニットの右端にメンブレンを固定します。

▼

ソフト画面でテーブルの動作ラインの条件（スタート位置、ラインの長さ、分注量）の設定

▼

スタート

ライン分注が終了しますとテーブルは自動的にホーム位置に戻ります。